

冬号

第155号

財団法人 山梨県交通安全協会

発行所 山梨県交通安全活動推進センター TEL (055)-237-7827
〒400-0064 甲府市下飯田一丁目13-23
(ホームページ http://www.yin.or.jp/user/ankyoku/)

- | | | | | |
|----------|-----------|-------------|----------|-----------|
| 甲府交通安全協会 | 南甲府交通安全協会 | 南アルプス交通安全協会 | 韮崎交通安全協会 | 長坂交通安全協会 |
| 鯉沢交通安全協会 | 南部交通安全協会 | 市川交通安全協会 | 笛吹交通安全協会 | 日下部交通安全協会 |
| 塩山交通安全協会 | 都留交通安全協会 | 富士吉田交通安全協会 | 大月交通安全協会 | 上野原交通安全協会 |

自動車安全運転センター山梨県事務所
社団法人・山梨県バス協会
山梨県二輪車安全普及協会

社団法人・山梨県トラック協会
社団法人・山梨県自動車整備振興会
山梨県自転車軽自動車商協同組合

山梨県タクシー協会
山梨県軽自動車協会
社団法人・山梨県建設業協会



駅伝に参加するランナーに交通事故防止を呼びかける南アルプス交通安全協会女性部＝南アルプス市・櫛形総合公園で

やめよう 飲酒運転

年末の交通事故防止県民運動 12月1日から31日

年末の交通事故防止県民運動が十二月一日から十二月三十一日まで三十一日間実施されます。

この時期、せわしい年の瀬を迎え毎年交通事故の多発が予想されます。また、飲酒の機会も多く酒酔い運転も多くなります。「飲んだら乗るな」「乗るなら飲むな」の通り、悪質な交通事故に結びつく飲酒運転をなくしましょう。

県内の交通事故は昨年を例にとるとこの時期は死者数も増えます。高齢者や学校が休みになる子供達を事故から守りましょう。①早めのライト点灯②シートベルトやチャイルドシートの正しい着用③など交通ルールを守り、県民一人ひとりが一層交通事故防止の意識を高めましょう。

山梨県交通安全協会では関係機関と連携して交通安全の大切さを呼びかけます。

交通安全カレンダー

- 12月1日～31日 年末の交通事故防止県民運動
- 平成18年
- 2月 交通安全推進県民大会
- 4月 春の全国交通安全運動
- 6月 交通安全子供自転車山梨県大会
- 9月 秋の全国交通安全運動
- 10月 山梨県中学生交通安全弁論大会

内容紹介

- 2面 夕暮れ時から夜間にかけての歩行者事故に注意
- 3～6面 各地区安協の活動
- 7面 高齢者自転車大会 県中学生交通安全弁論大会
- 8面 協賛団体の交通安全活動

交差点

▼自動車は、たいへん便利で快適な乗り物で、私たちの生活から切り離せない身近な文明の利器になっています。その反面、自動車は使い方をあやまると悲惨な交通事故を起こす凶器にもなり、いまだに多くの尊い命が交通事故の犠牲となっています。最近の全国の一般道路における死亡事故の特徴は、

- 死亡事故の約半数が交差点又は、その付近で発生し、交差点事故の約半数が信号のない交差点で発生している。事故死者の約三割が自動車運転者自身で、そのうち約半数がシートベルトを着用していない。
- 事故死者の約一割が自転車利用者で、一時不停止と信号無視が多くなっている。
- 平均すると全国で一日に約二〇人が死亡している。
- 酒酔い運転の死亡事故は、平成十四年の改正道路交通法施行以降減少している。
- 事故死者の約四割が六十五歳以上の高齢者で、歩行中の事故が最も多くなっている。
- 事故死者の約三割が歩行者で、そのうち約半数が信号無視となっている。

▼事故の多くが運転者のほんのわずかな不注意によって発生し、予想もしない悲劇を生んでおり残念なことであります。私たちはさらに交通安全に対する認識を深め、常に集中運転を心がけるとともに、「安全の原点」を理解し、ルールを守り、思いやりと優しさに支えられた運転をすることが大切なことではないでしょうか。

山梨県交通安全シルバリーリーダー研修会

高齢者の交通安全推進役を養成



電動車をいすに試乗する参加者
＝南アルプス市・山梨自動車学校

県では、十月十八日、南アルプス市の山梨自動車学校において「交通安全シルバリーリーダー研修会」を開催しました。

この研修会は、高齢者の交通事故を防止するため、地域で高齢者が率先して交通安全活動に取り組んでもらうことができるよう、交通安全の推進役となるシルバリーリーダーを養成することを目的としたものです。今回は、笛吹市など県内十市町から、地域活動に熱心な高齢者ら約八十名が参加しました。

午後、(財)日本交通安全教育普及協会の石毛昭治氏から、夜間における反射材の効果やシルバリーリーダーの役割

検査を体験しました。また、電動車いす安全普及協会から講師を迎え、実際に電動車いすに試乗し、安全な使用方法について学習しました。

午後、(財)日本交通安全教育普及協会の石毛昭治氏から、夜間における反射材の効果やシルバリーリーダーの役割

について講義を受けました。その後、各市町ごとに、地域での高齢者の交通安全学習の企画案等を練り、発表し意見交換をしました。

高齢化が進展し、高齢者が積極的に社会活動に参加されている一方で、高齢者の交通事故が増加し、特に、死亡事故では、全事故死者の三十五パーセントを高齢者が占めています。

今回、体験・実践型の本研修に参加された方々が、日頃

年末の交通死亡事故多発に歯止めを

昨年、十一月から十二月にかけて交通死亡事故が二十五件と増加し、二十八人の方が亡くなっております。過去五年間の同期間における交通事故の死者数は、平均十七人であり、

昨年の同一二カ月間では、平均より十一人の増加となりました。これら激増した事故を分析してみると、年齢別では、六十五歳以上の年齢層において六人(構成率二一・四パーセント)が、状態別では、歩行中、佇立中において十三人(構成率四六・四パーセント)が犠牲となり、昼

夕暮れ時から夜間にかけて歩行者事故に注意!

夜間においては、夜間の発生が六〇パーセントを占め、昼間より夜間の発生が高くなっており、このように、夕暮れの間帯が早まるこの期間は、歩行者には極めて危険な時期と言えます。

さらには、シートベルト着用状況をみると、シートベルト対象者九人のうち、着用率は四四・四パーセント(着用不明者一人)と非常に低くなっています。県警察では、これらの状況を踏まえ、薄暮時間帯から深夜にかけての「飲酒運転検問」による交通指導・取り締まりを強力に行うほか、シートベルトの着用やチャイルドシート使用に対しての広報・啓発活動等を推進するなど、各種交通事故防止対策を推進することとしております。

皆様方も夕暮れ時や夜間に外出する際には自身の存在を車の運転者に早く発見させるためにも明るい色の服装を心がけるほか、反射材グッズを身に付けてください。また、自動車、自転車を運転する時には、夕暮れ時の暗くなる三十分前からライトを点灯してください。

山梨県総合交通センター 来年3月5日にオープン

の熱心な地域活動を基に、率先して地域の高齢者の交通安全のために取り組んでくださることを期待するとともに、

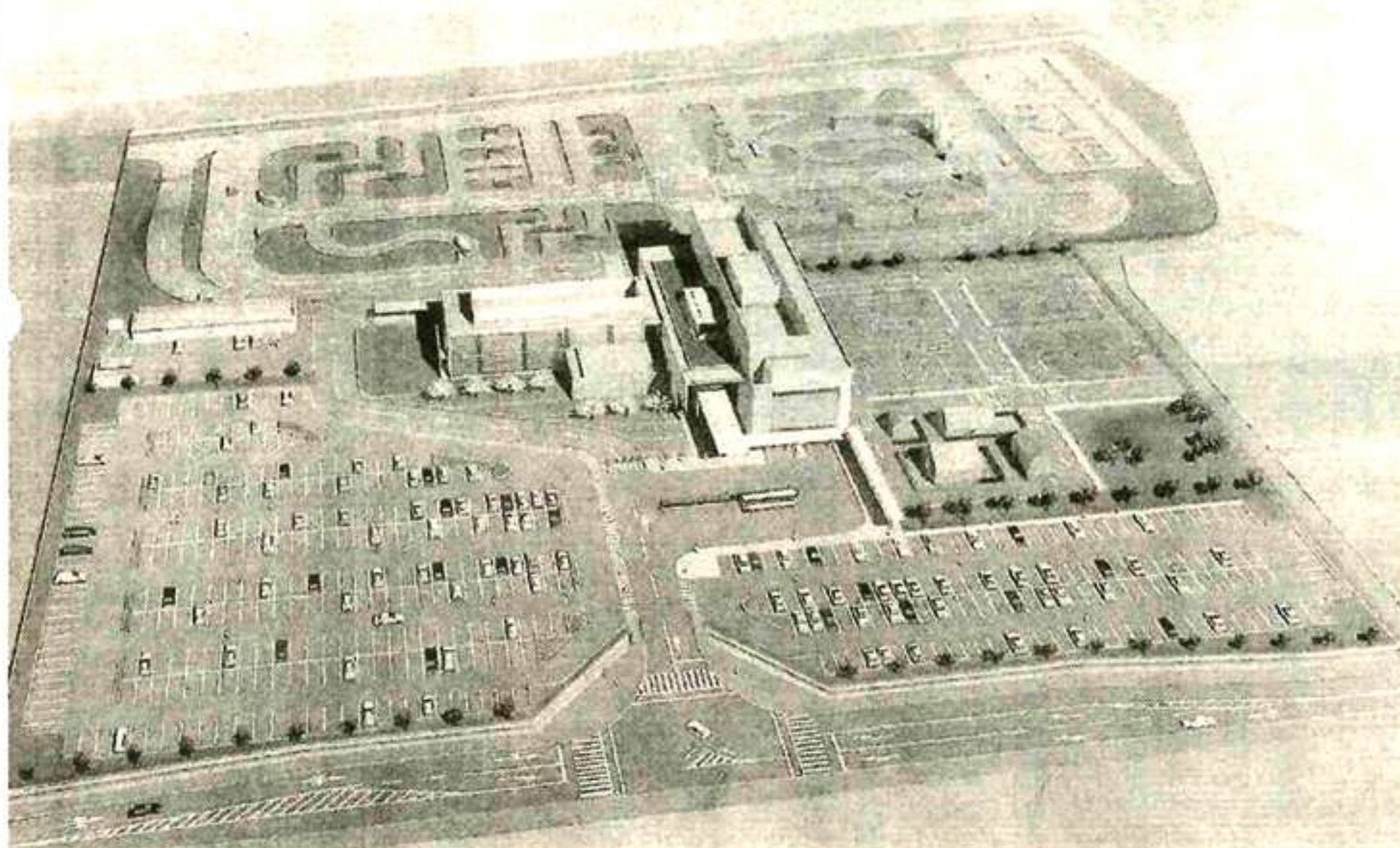
現在の運転免許センターに代わる施設として、南アルプス市下高砂地内に、山梨県総合交通センターが移転・オープンします。

建物には、昨年の十一月から建設を進めていたものであり、平成十八年三月五日(日)から、新しい総合交通センターで、全ての運転免許関係の業務を始めます。

総合交通センターは、新たな機能として、ミニ市街地の体験コース(自転車体験、カー体験、電動自転車による走行体験等)や学習ルーム(各種シミュレーター、映像教育設備等)を備え、幼児から高齢者までの方々が、心身の発達段階に応じて体系的な参加

・体験・実践型の交通安全学習ができる施設です。運転免許関係の事務はもとより、交通安全教育の総合的拠点施設として、交通事故のない安全で安心して暮らすことができる環境づくりや交通安全意識の啓発への取り組みを、これまで以上に進めます。

〇場所 南アルプス市下高砂八二五
〇問い合わせ 南アルプス市野牛島一八二八 山梨県警察本部運転免許課庶務係 電話〇五五二二八五〇五三三(内線五〇二)



山梨県総合交通センター完成予想図



山梨県総合交通センター
警察本部運転免許課
・南アルプス市下高砂825
・電話:055-285-0533

高い無事故率

早く優しい地元のための教習
山梨県公安委員会指定

岳麓自動車教習所

富士吉田市新西原5-5-1
☎0555-22-1689
普一、大型一・二、大特
けん引、自二
(合宿施設有)

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店
株式会社 たいよう共済山梨支店

甲府市丸の内二丁目16-1
富士急ビル6階
TEL055-228-0691



南部交通安全協会青年部の発足式

南部交通安全協会青年部の発足式は、昨日（二十二日）午後二時、同協会本部（依田倉蔵会長）は二十六歳から五十歳のメンバーで構成する青年部を発足しました。九月二十四日には発足式も行われ、川、上野原安協に次いで三例

このため、将来の活動を託すことができる後継者の確保、人材の育成を行い、協会活動の活性化を図るため、青年部を発足させることにしました。同部は南部、身延両町にある同協会九支部の会社員や自営業などの男性十九人で構成。街頭活動などで安全運転を呼び掛けながら、メンバーと同世代の人たちへの交通安全意識の浸透をめざします。発足式には各支部の青年部代表や南部警察署、

歌手の三船和子さんが「秋の全国交通安全運動」の一環として、市川警察署の一日警

また前日には同町内の老人福祉施設を慰問に訪れまし

また、街頭指導の配布用

また、街頭指導の配布用

また、街頭指導の配布用

後継者確保と人材育成へ 県内3例目の青年部発足

南部交通安全協会（依田倉蔵会長）は二十六歳から五十歳のメンバーで構成する青年部を発足しました。九月二十四日には発足式も行われ、川、上野原安協に次いで三例

このため、将来の活動を託すことができる後継者の確保、人材の育成を行い、協会活動の活性化を図るため、青年部を発足させることにしました。同部は南部、身延両町にある同協会九支部の会社員や自営業などの男性十九人で構成。街頭活動などで安全運転を呼び掛けながら、メンバーと同世代の人たちへの交通安全意識の浸透をめざします。発足式には各支部の青年部代表や南部警察署、

また、街頭指導の配布用

また、街頭指導の配布用

また、街頭指導の配布用

また、街頭指導の配布用

また、街頭指導の配布用

高速道路は、県民生活の利便性はもとより、本県経済の物流を支えるバックボーンとして大きな役割を果たしています。また、中部横断自動車道の整備も進んできているところであり、今後ますます交通量の増加が予想されます。高速道路の本線には、一時停止場所や横断歩道、交差点はありません。人と車が完全分離され、その道路の構造上極めて高い安全性が保たれているといえます。反面、その名の通り通行する車両は高速走行であるが故に、運転者のほんのわずかな気の

ゆるみにより深刻な交通事故を招く危険性もあります。昨年十一月、笛吹市一宮地内の中央道西宮線（下り）で、路肩に設置されている側溝の保安管理に

高速道路は、ノンストップで走り、快適な所要時間の安定性を確保できる道路です。しかし、そこには高速走行であるが故に、漫然と運転をしていますと、アクシデント

荷などが道路上に落ちていること、高速道路における交通事故の原因は、落ちついて行動することが大切で、後続車に対する安全を確認し、三角表示板の設置や発煙筒をたたくなど必要な処置を行って、速やかに車から離れ、ガードレールの外など、身の安全が確保できる場所に退避、待機して頂きたいと思ひます。

私たちは、高速道路を利用するすべての皆様、正しい交通ルールとマナーで、ゆとりと思ひやりのある運転に努めていただくなかで、悲惨な交通事故が一件でも少なくなるよう願っています。

「きみを守る」と掛けて「交通安全たまたご」配布

交通安全啓もう品を配布する

交通安全啓もう品を配布する

安全で快適な高速運転

県警高速道路警察隊長 小林 茂樹



県内各安協の活動

目となります。

同協会は一九五五（昭和三十）年に発足。地域の交通安全運動の中核組織として活動を行ってきました。しかし地域の過疎化や高齢化に伴い、活動の中心となる役員の高齢化も進み、次代を担う後継者の不足が深刻な問題となっています。

交差点重点に街頭指導 手作りビーズ品も配布

また、街頭指導の配布用

また、街頭指導の配布用

交通安全の発生状況を「LED」で鮮明に告知

また、街頭指導の配布用



発光ダイオードが使われた電光掲示板



交通安全たまたご

交通安全たまたご



日下部協が実施した高齢者宅訪問事業

高齢者訪問、安全アドバイス

日下部 反射材たすき配布も

日下部交通安全協会(河野勝会長)は「秋の全国交通安全運動」の一環として、交通弱者であるお年寄りを対象に、日下部警察署が指定した高齢者交通事故防止モデル地区で、ミニ講演会や講習、高齢者宅訪問などさまざまな啓発活動を展開しました。

笛吹市春日居町の春日居町民会館(9月21日)と山梨市のJ A山梨日川共撰所(24日)、同市の山梨市民総合体育館(28日)の3カ所で高齢者自転車・原付ミニ講演会を開催。約70人のお年寄りが参加しました。お年寄りたちは駐車車両の横や一時停止場所交差点などでの安全な通過方法などについて仮設コースで学びました。

また、訪問事業は、高齢者交通事故防止モデル地区である加納岩地区や日川地区を中心に、高齢者交通安全教室や老人クラブなどに参加しないお年寄りの自宅約800世帯を対象に実施。講習で配布した啓もう品と同じ反射材たすきなど交通安全グッズを贈りました。

また交通安全運動期間初日の21日には笛吹市春日居町の県道で街頭指導も実施しました。

「高齢者を事故から守れ!」
「実践」通して学ぶ交通安全

○：葦 崎



「福祉の日」記念祭りで交通安全啓もう品や風船などを配布
—葦崎市中央公園陸上競技場



お年寄りや子どもたちを対象に開かれた「シルバー&チャイルド交通安全教室」
—上野原自動車教習所

高齢者教室や啓発品配布 交通安全訴え多彩な活動

○：大 月

大月交通安全協会(山下道

男会長)は「秋の全国交通安全運動」初日の九月二十一日、大月警察署管内でチラシ配布や街頭指導など交通安全啓発活動を展開しました。

笹子駅など六駅と七保交差点の計七カ所では、黄色い羽根やチラシ、交通安全標語入りのポケットティッシュなどを通勤・通学者らに配布。大月警察署前では大月安協役員や同警察署員、交通関係団体などの役員ら約三十人が通行車両に啓発品を配りました。

同安協婦人部が手作りののい袋も配布、好評でした。大月市の法輪寺大月別院では交通事故防止祈願祭も開催しました。

警察交通係員の講話やビデオ上映、自らの反射神経がどの程度かを知る体験も行われました。反射材の付いた雨傘やリストバンドも無料配布されました。

高齢者の事故防止対策では、交通安全運動期間中の二十八日に、明野中学校前の駐車場で高齢者交通安全教室を開催。模擬道路で横断距離の実験や制動実験、ダミー人形

交通安全運動初日の二十一日には、J R葦崎駅と「ゆーぶる」にらさき」前の国道141号の二カ所で街頭指導も行い、ドライバーに交通安全啓もう品などを配りました。十

交通安全運動初日の二十一日には、J R葦崎駅と「ゆーぶる」にらさき」前の国道141号の二カ所で街頭指導も行い、ドライバーに交通安全啓もう品などを配りました。十

初日にパレード フェスタも開催

○：南 甲 府

南甲府交通安全協会(山下讓二会長)は「秋の全国交通安全運動」初日の九月二十一日、甲府市総合市民会館で高齢者を対象に「交通安全フェスタ」を開催しました。お年寄り約五百人が参加。漫談や落語などを交えながら交通安全を呼び掛けました。

フェスタでは、交通安全教室「さちかぜ号」の二人が交通講話、アマチュア落語家



山梨ビッグ会の8人が1500ccの二輪車による交通安全パレード

二人と漫談家の月亭可朝さんによる交通安全漫談が披露されました。

参加者全員に高齢者事故防止のパンフレットや反射材、つば押し棒、キーホルダー、マンガ入りのレットペーパーなどを無料配布しました。南甲府警察署では同日、安全運動出発式も行われ、同安

協各支部、同安協交通安全母の会、同安協連転管理者協議会、同警察署から百四十五人が参加。式後には同警察署前に街頭指導所を開設、管内主要道路では山梨ビッグ会(雨宮一彦会長)の八人がホンダゴールドウィング(GL)1500ccによる交通安全パレードも行われました。



98人が参加して開かれた高齢者交通安全教室
—大月・笹子公民館

安全運動を前にした九月十三日には、笹子公民館で高齢者交通安全教室も開講。お年寄り九十八人が参加、大月警

交通安全教室も開講。お年寄り九十八人が参加、大月警

お年寄りへ思いやり運転を

交通安全運動期間中の九月二十八日、運動期間中の九月二十八日、

このほか管内三カ所で街頭指導を実施。二十二日には二輪車の街頭指導も行われまし

月一日には、「福祉の日」記念祭りに交通安全コーナーを設け、パトカーや白バイの展示などとともに、シートベルト着用などを呼びかけた交通安全全パフレットを訪れた人たちに配布しました。

また同安協女性部(曾根智子部長)から上野原警察署に交通安全を祈願するビース飾り約五百個が贈られ、街頭指導などで配布されました。

ゲートボール大会で 交通安全を誓い合う

○：塩 山

塩山交通安全協会(内藤進会長)は「秋の全国交通安全運動」期間中の九月二十一日、

塩山交通安全協会(内藤進会長)は「秋の全国交通安全運動」期間中の九月二十一日、

大会には二十八チーム、約二百五十人が出場。一位から三位までの上位チームには表彰状やトロフィーなどが贈られた。また参加者全員には「交通安全」と書いた参加賞も贈られた。塩山ゲートボール協会役員の交通安全全宣言も行われました。



28チーム、約250人が出場した交通安全ゲートボール大会
—塩山市民総合グラウンド

交通ルール守ってね

秋の全国交通安全運動は九月二十一日から三十日までの十日間、県警、県協など関係機関・団体などが参加して行われました。高齢者の事故防止や夕暮れ時の走行中の車と自転車乗車中の事故防止、シートベルトなどの正しい着用、飲酒運転など悪質運転の追放を掲げ、交通事故防止を図るために地区安協でもさまざまな取り組みを展開しました。

「安全」子どもたちの願い

園児が鼓笛演奏 安全カードも配布

○：富士吉田



「はい、手を挙げて渡ろうよ」。警察犬と一緒に横断歩道を渡る園児たち

富士吉田交通安全協会（渡邊日出男会長）は九月二十一日からの「秋の全国交通安全運動」を前に二十日、富士吉田道の駅で出発式を行いました。式では月江寺幼稚園の園児たちが鼓笛演奏や自作の交通安全カード配布などに大活躍しました。

富士吉田警察署、交通関係団体、学校関係者など約二百二十人が参加。月江寺幼稚園鼓笛隊によるオープニング演奏で開幕しました。園児たちは警察犬による実技にも参

加。交通安全の願いをこめた風船上げも行いました。白バイやパトカーの展示と記念撮影なども行われました。

「交通安全日本一」へ 目標新たにフェスタ

○：長坂

街頭でも同幼稚園児が手作りの交通安全カードをドライバーに配布。安協役員らも交通安全啓発品などを配りました。シートベルトコンビンサーを使った着用効果体験も行いました。

運動期間中には各支部ごとに街頭指導所を開設。のぼり旗も掲げました。勝山支部は二十一日、支部役員らがミラーの清掃も行いました。



「北杜市交通安全フェスティバル2005 in おおひすみ」で白バイに試乗して大喜びの子ども
＝大泉総合会館

「交通安全日本一」への目標新たにフェスタ。長坂交通安全協会（伊藤重忠会長）の大泉支部と北杜市は、秋の全国交通安全運動期間中の九月三十日、大泉総合会館で「北杜市交通安全フェスティバル2005 in おおひすみ」を目指し、交通安全！日本一」を開催しました。

主催者や関係団体の挨拶などに続いて大泉支部の平井たつき支部長が「私たちは、命の大切さ、思いやりの心を持つて正しい交通安全の実践を子供から高齢者まで広く呼びかけ、交通安全思想の普及とモラルの高揚に努めていくことをここに宣言します」などと交通安全宣言をしました。

安協から

塩山交通安全協会は、甲府盆地の北東部に位置する塩山市（人口二万六千四百四十五人）のほか、勝沼町（人口九千五百六十八人、大和村（人口千五百三十一人）を所管区域としていたところでありましたが、本年十一月一日市町村合併により、新たに「甲州市」が誕生し、所管区域も一つに統一されました。

管内は、戦国の武将武田氏の史跡が数多くあり、「甲州の鎌倉」と称される歴史文化の町でありま

訪れる観光客が多く、また日本のワインの産地として県内外の行楽客の車両が増加したことから、幹線道路では行楽客が関係する交通事故が発生しています。このため、当協会では関係機関・団体と協力して街頭指導所を開設すると

また、昨年の物損事故は五百八十八件（前年比マイナス五十一件）と、こちらも減少しました。

総力を挙げて交通事故防止

塩山交通安全協会会長 内藤 進



ともに、役員五百七十四人が総力をあけて地域における交通事故防止活動を行っています。

管内の事故の特徴を見ますと、〇市町村道における交通事故が全体の約四割を占めている

さて、塩山警察署管内における昨年の人身交通事故の発生状況は、発生件数二百三十七件（前年比マイナス二十件）、死者数二人（前年比十〇人）、傷者二百九十六

〇追突事故と出会い頭による事故が全体の約五割を占めている

め、道路交通の場に参加する全ての人が協力し、塩山警察署管内の地域、家庭、学校、職場において、次の項目の諸対策を強力に推進しているところでありま

①交通安全教育指針に基づく段階的・体系的な交通安全教育の推進

②シートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底

③歩行者、自転車利用者、特に高齢者と子供の交通事故防止活動の徹底

引越のことなら
まずお電話を！

まかせて安心

ISO9001:2000 認証
松本引越センター 山梨営業所
TEL. 055-222-0222
0120-22-0222
中巨摩郡玉穂町西新屋330-7

交通安全運動初日の二十一日には都留自動車教習所で高齢者安全運転コンクールを開催しました。高齢者の運転技術の向上と運転者自身の安全意識を高めました。



都留警察署、都留市、都留地域交通安全活動推進委員協議会などが協力。都留二中のマーチングバンドや青藍幼稚園の園児、都留交通安全協会役員ら約二百五十人が参加しました。

子どもたちを守りたい

地域を巡回 防犯、防災にも目配り 県内で活発

■甲府・石田地区

「純心、自由奔放は子どもたちにとっては大切なもの。押しつけるような言い方だけはよそう。『見守ってあげる』。そんな気持ちで子どもたちに笑顔を向けましょう」

児童安全パトロールのリーダー会議の会場で、甲府交通安全協会石田支部の深沢祐治支部長はこう呼び掛ける。支部の人たちが昨年から始めたパトロール。その輪は、今年春に石田地区自治会連合会の十五単位自治会や老人クラブ、PTAまで広がり、約二百四十人が参加する地区全体の活動へと拡大した。

二人一組。よく目立つ黄色のジャケットに腕章。下校時に各単位自治会の中を巡回する。「下校時には各単位自治会内を別の単位自治会の子どもたちも通過していく。それぞれの自治会で巡回を徹底し、子どもたちに声をかけ安全を促すことは地区全体の安全につながるんです」と深沢支部長は話す。



巡回を続け、子どもたちとも顔なじみになった
—甲府・石田小

県内各安協の活動

効果は現われた。今年一月から七月まで地区内で発生した犯罪(空き巣や車上盗など)は昨年同期に比べ三十一件減少した。子どもが巻き込まれる大きな交通事故もない。

15自治会、PTAも参加 地域一斉、犯罪抑止に効果

各地区、団体などの代表が集まるリーダー会議が三カ月一回開かれる。子どもたちへの声かけの仕方、各地区の交通安全・防犯上の問題点の洗い出しなどを行い、「子ども

■南アルプス・落合

「童話ではありませんが、『あの子はだあれ』の風潮が都市だけでなく農山村にも広がっています。子どもたちは地域の宝。そんな思いで始めました」

子どもたちの下校時パトロールを進める南アルプス交通安全協会女性部甲西支部落合分会(石谷多恵子分会長)の会員

「地域の宝」包む女性部員 農作業、買い物にも腕章

林さんが「橋渡し」にすぐ動いた。

で同女性部甲西支部の今津玲子部長はこう話す。分会員は二十八人。三十歳代から七十歳代までの女性で構成する。児童を子どもにもつお母さんから孫をもつ女性まで幅広い。

今年二月、今津さんが南アルプス女性議会で子どもたちの事故防止や防犯の対策について市当局に質問。やはりまず地域が動かなければ。私た

「気をつけて帰るんだよ。週一回。三十一人組で下校時の落合小に出向き、子どもたちに声をかける。学校周辺も巡回。六月には南アルプス警察署から「防犯パトロール」の腕章も贈られた。農作業の時、ちょっと近所まで行く時は腕章



畑が続く農村部には「死角」が多い。子どもは地域の宝」と巡回を続ける南アルプス安協甲西支部落合分会のメンバー
—南アルプス・落合小

★各種の免許(大型・普通・大特・けん引の名第一種、第二種免許及び普通二輪免許)の取得ができます。

★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

財団法人
山梨県交通安全協会経営
公認 山梨自動車学校
南アルプス市野牛島1828
(免許センター内)
TEL(055)285-0752

シグナル

十一月十五日現在の取消処分者は、全体で四百七十三人のうち、二百五十三人、五十三・五%が、酒酔い・酒気

飲酒運転は、厳罰(行政処分)です。(酒井仁運転免許課次席)

つづいていきたい」と深沢さんは言う。安協は交通安全の推進が主眼。だが地域住民が巻き込まれる災害は、交通事故以外に犯罪、天災とさまざま。とくに地震はいつかの災禍が複雑に絡む。深沢さんは広く市民にも親しまれた安協の役割を幅広い視座でとらえる。「地域住民の安全を守る。この目的のため前線に立つ民間組織の一つが安協です。交通にとどまらずに広い視野で人災、天災問わず災害に強い町、安全で安心な町にしたい」

運転免許の行政処分は、悪質で危険な違反ドライバーや交通事故を起こした点数などをつけ、免許の停止処分、取消処分などを行い、その効果として、道路の安全を確保する仕組みです。県下の十一月十七日現在の交通事故の発生状況は、発生六千二百四十六件、死者五十三人、負傷者八千二百二十七人であり、高齢者運転者による死亡事故が増加しているほか、飲酒運転による死亡事故の増加が著しい傾向にあります。また、公務員による飲酒運転の摘発をはじめ、毎日のように飲酒運転がらみの記事が報道されております。平成十四年六月の道路交通法施行令の一部改正により、悪質な違反行為に付けられる行政処分点数が引き上げられております。同施行令では、酒酔い運転等を二十五点に、酒気帯び運転(〇・二五以上(酒気帯び運転の基準値となる身体に保有するアルコールの程度)政令数値)等を十三点にそれぞれ引き上げたほか、六点の酒気帯び運転(〇・一五以上〇・二四未満)を新たに設けております。

飲酒運転撲滅へ一丸 宴席多い年末は要注意

「酒を飲んだら運転しない、運転するならば飲ませない」という思想を徹底する年末に向けて飲酒運転撲滅の気運をより一層醸成していただきたいと思っております。

飲酒運転は、①気が大きくなり、運転が荒くなる②安全確認がおろそかになり、見落とし、脱輪、車体接触が数倍になる③合図なし、停止位置オーバーが数倍になる④反応時間が低下することなどが、実験結果からも明らかとなっております。飲酒運転の恐ろしさを改めて実感していただきたいと思っております。また、比較的低濃度のアルコールによる飲酒運転事故が増加しているとも言われております。少量の飲酒をした後、あるいはお酒を飲んで少し休んだ後に車を運転するケースが増加傾向にあります。

また、特に危険性の高い行為は、一回の違反で運転免許が取り消され、最長五年間の欠格期間が指定できることとされております。

飲酒運転は、厳罰(行政処分)です。(酒井仁運転免許課次席)

高齢者が自転車操法学ぶ

県安協が 52人にリーダー証交付



熱心に自転車の操作を学ぶ
＝南アルプス・山梨自動車学校教習コース

県交通安全協会などは十月二十八日、南アルプス市下高砂の新設山梨自動車学校教習コースで交通安全高齢者自転車大会を開きました。高齢者による自転車事故が後を絶たないことから、安全な乗り方を学び地域住民に伝えてもらうと初めて実施。県内十五の交通安全協会から五十二人が参加しました。参加者は前後左右の安全を確認しながら運転。コースに立った指導員が交差点の二段階折の方法などをアドバイスしました。

終了後、県警職員から「信号や標識の順守、踏切りの渡り方、スタート時のペダルの位置」などユーモアたっぷりの講話を聞きました。特に昨年寄りフラフラする自転車の操作が事故に結びつくので、しっかりした自転車操法学びました。参加者に交通安全リーダー証を交付しました。県交通安全協会によると、県内では自転車が関係した人身事故が一月から九月末までに五百三十四件発生。このうち、六十五歳以上の高齢者が関係した事故は百件で、二人が死亡しています。

県民の日交通安全体験コーナー開設

山梨県交通安全協会は、十一月十二、十三の両日、小瀬スポーツ公園で開催された県民の日記念行事に今年も参加し、交通安全のための参加体験型のコーナーを開設しました。今年新しく導入した「シ

では、高齢者用のチラシの配布、反射材の展示・販売
○お母さんと子供の交通安全コーナーでは、チャイルドシートの展示・販売、子供向け交通安全ぬり絵・信号鈴（赤青黄の三色鈴）の配布
○自転車用反射材の配布を行いました。
多くの親子連れや、高齢者の方が参加し、参加者の多くは「シートベルトの着用の効果とチャイルドシートの正しい着用方法を知ることができた」などと感想を述べるとともに、反射材にも関心を示され、自分の身を守るには必要だと多くの方が購入されました。

最優秀に樋口慶君(3年)

中学生交通安全弁論大会

第四十七回山梨県中学生交通安全弁論大会が山梨県警察本部と山梨県交通安全協会の共催で十月二十四日、甲府市のニュー機山で開催されました。大会には県内の十五警察署管内の地区大会で優秀な成績

受賞者は次の通りです。
△優勝▽山梨県知事賞 樋口慶(増穂中3年) △準優勝▽山梨県議会議長賞 相澤大樹(都留第二中3年)▽山梨県教育委員長賞 小林樹里(芦安中学3年)▽山梨県警察本部長・山梨県交通安全協会賞 眞壁一輝(駿台甲府中2年) △優秀賞 原藤さつき(長坂中3年)小川由莉(学院大学附属中2年)渡辺健司(春日居中2年)屋敷一帆(上野原中1年)兵藤夏実(南部中2年)古川実優(一宮中2年)古谷裕介(西浜中3年)勝俣美月(七保中3年)平林摩耶(増穂中3年)渡邊亮子(市川南中2年)小林理一郎(松里中1年)三井太智(須玉中3年)

県交通安全弁論大会 最優秀作品

「樋口ごめん。長い間手紙を返せなくて。実は俺三箇月前に事故にあったんだ。帰宅途中車でおもいきりはねられたんだ。それから俺の足は思うように動けなくなった。この足は二度と動けなくなるかもしれないと医師に言われた。その時は俺はがっかりした。だって足が不自由になって自分の夢が達成できなくなるんだ。今までの努力が何だったのか。俺は何をしたらいいのかわからない。」

「夢をもちろめなっど！」

増穂中3年 樋口慶



今、僕達にできる交通安全全という車に乗る時にしっかりとシートベルトを着用すると横断歩道を気を付けて渡るとか自分の身を守る事くらいしか思いつきません。しかし、僕達の年代もいつかは必ず車を運転するようになります。今、交通安全事故を防ぐ為の規則が作られたりしています。でも、

八月の下旬、僕の元に届いた友人の手紙にはこう書いてありました。この手紙の友人

誰よりも一生懸命に学習し、

瞬間にして彼の努力を水の泡にしてしまい、彼の夢、理想を奪い、彼をどん底に落とし死と同じ位苦しい状態にしてしまいました。僕にとって何よりも怒りを感じたのが、この

それより何よりも大切なのは一人一人が持っている気持ちです。社会の一員としての責任規則をしっかり守ろうという強い自覚が大切なのです。それを無視したらあの事故を起こした男性と同じ様に人の夢、命まで奪ってしまうのです。事故という問題を他人事のように考えないで欲しい。この問題を真剣に受けとりに生きていかなければいけないのです。
今、僕の友達に心身共に消せない傷跡と戦っています。彼はいつ回復するか分かりません。でも、僕は彼の回復を祈っています。そして彼が夢をあきらめないでずっとずっと前へ進んでくれる事を願っています。



体験を発表する参加者
＝甲府・ニュー機山



交通安全コーナーを見学する参加者
＝小瀬スポーツ公園

県トラック協会



走る理由がある。

私達は走り続けなければなりません。現在トラックによる運送は国内のほぼ9割を占め、豊かな暮らしを物流の面から支えています。トラックが止まってしまうことは、人の体の血液が止まってしまうこと。街から品物や人々の笑顔が消えてしまうことのないように、私達は今日も走り続けているのです。そして同時に環境問題についてもアイドリングストップ運動の早期からの実践など、素晴らしい自然を次代に引き継いでゆくために、業界をあげて早く取り組んでいます。

現在トラック業界は、相次ぐ規制による負担増や燃料価格の急騰により厳しい経営環境にあります。しかし私達は、運賃の適正化を呼びかけるなどの具体的なアクションをおこし、これを必死で乗り越えようとしています。かけがえない自然と笑い声のあふれる暮らしを守るため、私達のチャレンジはこれからも続きます。

運ぼう未来へ 豊かな自然と環境を



(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)・(社)全日本トラック協会・後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

SJD 自動車安全運転センター

自動車安全運転センターでは次のような業務を行っています。

I 安全運転の研修 安全運転の研修は、茨城県ひたちなか市の「安全運転中央研修所」で実施しています。この研修所は世界でもトップレベルの総合的な安全運転教育施設であり、実際の道路交通現場に対応した安全運転について体験研修を行っています。

一般道路では試すことのできない緊急制動・緊急回避・危険の予測等様々な実地研修を行い、すぐれた危険予測能力が身につきます。

II 運転経歴の証明 運転者の皆様の求めに応じて、次の4点の各証明書を発行しています。

◎無事故・無違反証明書—無事故・無違反で経過した期間について証明します。(1年以上事故・違反等のない方には、SDカードを差し上げています)

◎運転記録証明書—過去5年間・3年間または1年間の交通違反・交通事故及び運転免許の行政処分等の記録について証明します。(1年以上事故・違反等のない方には、SDカードを差し上げています)

◎累積点数等証明書—交通違反や交通事故の点数が、現在何点になっているかについて証明します。

◎運転免許経歴証明書—過去に失効した免許、取り消された免許、又は現在受けている免許の種類、取得年月日等について証明します。

※証明書の必要な方は、最寄りの郵便局から郵便振替の方法により申し込むか、当センター事務所に直接おいで下さい。手数料は1通につき700円です。

III 交通事故の証明 交通事故の当事者が適正な補償を受けられるようにするために、その求めに応じて、交通事故の発生日時、

当事者の住所・氏名などを記載した交通事故証明書を発行しています。

※事故に遭われたとき、警察に届出をした交通事故でないことを証明書は出せません。

※申し込みのできる方は、交通事故の当事者(加害者・被害者)及び当事者の委任を受けた方です。

※証明書の必要な方は、最寄りの郵便局から郵便振替の方法により申し込むか、当センター事務所に直接おいで下さい。手数料は1通につき600円です。

IV 累積点数の通知 運転免許の停止処分、または、違反者講習を受ける直前の方に対して今後、交通違反や事故に気をつけてより安全な運転を促すために、累積点数を書面で通知しています。

◆問い合わせ先 自動車安全運転センター山梨県事務所

南アルプス市野牛島1828番地(運転免許センター内)

TEL (055) 285-2345・FAX (055) 285-2951
http://www.jsdc.or.jp/



AMS(山梨県自動車整備振興会)

◇あなたの車は、大丈夫!?

我が国の自動車保有台数は、平成16年度末現在7,800万台に達し、国民生活に十分定着した輸送手段となっています。一方、交通事故による死傷者数も依然として年間110万人を超える状況にあることや、タイヤ脱落、車両火災事故等車両に起因する事故が全国的に連続して発生し、社会問題となっています。

また、大都市部における大気汚染状況、特に浮遊粒子状物質の環境基準達成状況は依然厳しい状況にあるなど、自動車の増加による弊害が容易に解決しない事態となっております。

自動車の不具合による交通事故や公害の防止を図る観点から、自動車の適切な保守管理、点検・整備の実施が義務付けられていますが、自家用乗用車の1年点検実施率は未だ43%程度と、自動車使用者が点検・整備の必要性を認識されていない状況にあります。

このことにより、有毒なガス、騒音を排出する可能性があるばかりでなく、車両の不具合による事故を引き起こす要因を抱え、十分に安全性が確保されないまま運転されている可能性があります。日頃の点検や法定点検による不具合個所の整備は、自動車使用者の「義務」となっています。

このため、自動車整備業界では、自動車使用者の皆さんに適切な点検・整備の実施やその必要性を認識して頂くよう、多様なイベント等を通じて呼び掛けています。

点検・整備のことなら、国の認証を受けた県下860のAMS(アムス)看板の自動車整備工場にお任せ下さい。高度な技術を持ったプロの整備士が確かな点検・整備で快適で安心と安全をお約束します。

地球環境を守り、交通事故防止に努め、点検・整備を忘れず安全運転を心がけて下さい。

◇整備技術の研鑽!

“優れた技術力と適切なアドバイスでお客さまを満足させます”をスローガンに、全国自動車整備技能競技大会が、11月に東京・有明の東京国際展示場において開催されます。

そこで、本県でも整備士相互の連帯交流を深め、整備事業の公共性と業界の教育訓練、技能錬磨の姿勢を広く社会に示すことにより、業界に対する正しい理解と認識を高め、業界の健全な発展と自動車の安全確保及び環境保全に寄与することを目的として、8月27日(土)、第15回山梨県自動車整備技能競技大会を開催致しました。

この大会は、1チーム2名による支部対抗戦で実技競技を主体とする実車及び単体競技で争われました。

2時間にわたる白熱した競技が展開され、その結果、次のチームが優勝し、本県代表として全国大会に臨むこととなりました。

《優勝チーム》

都留支部 細田浩一 選手(㈱セントラルモータース)
柳原一之 選手(㈲ツルオートサービス)

「山梨自動車学校」が新築移転 18年3月5日にオープンします

新住所 南アルプス市下高砂
847番地

長い間皆様から御影の教習所としてご利用いただいております。山梨自動車学校ににつきましては、現在のコースが狭隘であることから新設の山梨県総合交通センターの隣接地に移転します。新施設は教習生のニーズに応じた明るく近代的な設備を設けた建物です。コースは道路交通法改正に伴う新基準を備えたものとなっております。全車種を対象に教習が可能となります。なお、財団法人山梨県交通安全協会事務局も併せて移転いたします。



山梨自動車学校の完成予想図